

DMAT

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム **D**isaster **M**edical **A**ssistance **T**eam の頭文字をとって略して DMAT（ディーマツト）と呼ばれています。

DMAT は、医師・看護師・業務調整員（医師、看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多病状者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね 48 時間以内）に活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです。

厚生労働省DMAT事務局ホームページより引用

当院では、令和 2 年 4 月の時点で医師 3 名、看護師 10 名、業務調整員 8 名が DMAT 養成研修を修了し隊員登録されています。

大規模な災害が発生した際は、長野県知事の要請により医師・看護師・業務調整員を含めた最低 4 名以上を 1 チームとして派遣し活動をします。



災害拠点病院

当院は平成 9 年 1 月に地域災害拠点病院として指定されております。

災害時には上小地区（上田市・小県郡）の災害医療の要となり、DMAT や医療機関、消防や行政と連携を図り、傷病者の受け入れや医療活動が行えるように準備を進めています。

長野県には 13 施設の災害拠点病院があり、それぞれ DMAT が配置されています。



活動実績

- 2011年 東日本大震災
- 2014年 御岳山噴火
- 2016年 神城断層地震
- 2016年 熊本地震 *長野県医療救護班として派遣・活動
- 2019年 台風19号災害 上小・佐久医療圏 DMAT 活動拠点本部



DMAT 訓練

災害時に迅速に対応できるように、毎年実施される長野県総合防災訓練・日本DMAT 中部ブロック訓練や、政府主体として実施される大規模地震時医療活動訓練に参加し知識の向上や技能維持に努めています。

